

北の国より
北海道の島嶼郵便局

北見国 香深 (礼文島)



明治20年8月2日
北見国 礼文郡 香深村 (礼文島)
→ 加賀国 江沼郡 橋立村
抹消印: ◎KG 北見 礼文 香深 8. 2
到着印: ◎KB2 加賀 大聖寺 8. 19. は
第1種料金 2銭
北前船より船主宛の手紙
宛先の益田又右エ門は北前船の船主で加賀国
橋立村には北前船の船主が50人ほどいる中で
久保家、西出家に次ぐ船主で2隻を所有。

通送ルートは香深-函館は同一ルートだが函館-大聖寺は海路日本海側の伏木又は敦賀より陸路で大聖寺
海路太平洋側で横浜-金沢-大聖寺。函館-青森を海路で陸路で青森-福島-浦和-高田-大聖寺のルート
が考えられるが、通送日数が17日の為にルートが決められない。香深の出港日が判れば推定可能？

明治19年郵便線路図



島嶼郵便局の開設

後志国	奥尻島	奥尻	明治19年11月1日
北見国	礼文島	香深	明治18年2月1日
	利尻島	利尻島	明治13年9月1日
	利尻島	鷺泊	明治15年10月16日 改称
天塩国	焼尻島	焼尻	明治18年2月1日